

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 西山 富三 郎

令和元年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	令和元年 7 月 29 日 (月) ~ 30 日 (火)	
2	研 修 地	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所	
3	研 修 内 容	(内 容)	
		(1)	自治体予算の原則・予算の意義
		(2)	歳入予算の基礎とチェックポイント
		(3)	歳出予算の基礎とチェックポイント
		(4)	財政の理論と実務 ① 財政政策の判断
4	研 修 結 果 又は概要 (意見・感想)	(場 所) 滋賀県大津市	
		<p>(1) 予算の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 自治体の行政活動の方向性を具体的に表現し一覽表 ② 住民の代表(議会)が首長をコントロールする手段(議決による) 首長の執行権を賦与 ③ 予算を通じて首長が行政執行をコントロール ④ 住民に情報提供、納税の税金がどのように使われ効果が住民に還元されるかを判断する基礎 <p>(2) 歳入予算のチェックポイント</p> <p>歳入の勘定基本原則 (地方財政法 3.4.4 の 2 参照)</p> <p>翌年度予算 以降は健全な財政運営からできることを視野に入れ</p> <p>予算編成段階 ・ どのような資料を参考に正否を判断するかの判断</p> <p>予算執行段階 ・ 経済の現状に即応した収入の算定</p> <p>・ 適宜に歳入の確保</p> <p>自主財源と一般財源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主財源 自治体が自主的に収入する財源 ⇨ 1. 収入財源 地方税 地方債 地方基金 手数料 財産収入 寄附金 繰入金 繰越金 寄附収入 ・ 一般財源 用途が特定されずどのような経費にも使用できる財源 ⇨ 特定財源 地方税 地方譲与金 地方交付金 地方消費税交付金等の交付金 	

千使 富三郎

<p>4</p> <p>調査結果 又は概要 (意見・ 感想)</p>		<p>(3) 歳出のチェックリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務的経費 (人件費) <ul style="list-style-type: none"> ラスパル指数 一つの自治体の給与水準(月額給与)を国家公務員と比較した指数、学歴・経年数の差による影響を補正し国家公務員を100として算出。 平成20年4月1日現在 99.2 全団体加重平均。 ・ 義務的経費 (扶助費) 生活保護・保育料の整備・運営、児童医療費助成、障害者手当、住宅・就業訓練、医療費助成など ・ 義務的経費 (公債費) 過去の差で行った地方債の償還金 ・ 投資的経費 その水準は将来の公債費に繋がります
		<p>(4) 財政分析に活用できる資料</p> <p>市町村公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政状況資料等 (収支比較分析表ほか) ・ 市町村決算状況説明 ・ 全市町村の主要財政指標 ・ 業種別・団体別市町村財政指数表 ・ 給与小冊教員公教システム ・ 地方公営企業決算 ・ 第三セクター等の状況調べ ・ 公共施設数と人口など
		<p>(5) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会における予算審議 ① 予算の修正 ・ 予算の再議 ・ 予算に伴う条例案と予算の関係(法222条) ・ 専決処分 ・ 予算編成から決算までの流れ <p>等々、専門的知見を活用する必要性との連携の必要性を痛感した。</p> <p>現状大の所議会での研究は行なわれているが、全議員のスキルアップが最大の課題と感じた。</p> <p>住民福祉の増進に現状では対応できなさと感じました。</p> <p>議員とは何かの原案から出発すべきだと感じました。</p>